

2024年JLPGA ツアー開幕戦 『第37回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』 ～出場選手決定のお知らせ～

JLPGA ツアー2024 シーズン開幕戦『第37回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント（賞金総額1億2,000万円[優勝賞金2,160万円]』（主催：ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社、以下ダイキンオーキッド）の出場選手が決定しましたのでお知らせいたします。

今大会には、2023年シーズンのメルセデス・ランキング1位で、2年連続で年間最優秀選手に輝いた**山下美夢有**、昨年は念願のツアー初優勝を飾り、年間3勝を挙げ最終戦までもつれる年間女王争いを演じた**岩井明愛**、2勝を挙げメルセデス・ランキング6位の**岩井千怜**の岩井姉妹がエントリー。さらに、歴代覇者の**小祝さくら**や**西郷真央**、ツアー史上3人目の快挙となる10代での年間4勝を挙げた**櫻井心那**など昨シーズンを盛り上げたメルセデス・ランキング上位の選手や実力者が出場します。なお、前回優勝の申ジエはHSBC 女子世界選手権に出場するため欠場となります。

5年ぶりの地元優勝をめざす沖縄県勢では、ダイキン所属の**諸見里しのぶ**と**新垣比菜**を筆頭に、今年、琉球放送とスポンサー契約を結んだ**荒川怜郁**、2019年大会覇者の**比嘉真美子**が出場します。さらに、**上原彩子**も25大会連続出場となるほか、**宮里美香**は産休から復帰し2年ぶりのツアー復帰となります。さらに、ダイキンオーキッドアマチュア選手権の上位4名を加えて13名が出場します。

ダイキンオーキッドは、2月29日（木）から3月3日（日）までの4日間、沖縄県南城市の琉球ゴルフ倶楽部にて開催します。今回、5年ぶりにコロナ渦前の形で開催となり、ダイキンの創業100周年を彩るべく華やかな大会になることが期待されます。

オリンピックイヤーとなる2024年最初の栄冠をめぐり、総勢108名の選手によって繰り広げられる、華やかで熱き4日間の戦いにご注目下さい。



◆新たな歴史的一幕を飾る重要な一戦

今大会は東京五輪に続いてのメダル獲得を目指す日本女子ゴルフ界にとってシーズンの重要な幕明けとなります。



山下美夢有

名実ともに JLPGA ツアーの顔となった**山下美夢有**は、国内メジャー1勝を含むシーズン5勝を挙げ、史上最年少での2年連続年間最優秀選手に輝きました。また、2年連続獲得賞金2億円突破は JLPGA ツアー史上初の快挙となったほか、JLPGA 栄誉賞を受賞するなど5冠のタイトルを獲得しました。特筆すべきは、2022年シーズンに続いての平均ストローク60台(69.4322ストローク)を達成し、これまでの JLPGA ツアーの平均ストロークの最少記録を更新するなど、主要スタッツ18部門で1位に輝き、その実力を存分に発揮しました。3年連続での年間最優秀選手の偉業へ向けて、重要な初戦を迎えます。



岩井明愛

昨年、大きな飛躍を遂げた一人である**岩井明愛**は、4月に初優勝を飾った勢いそのままに、2週連続完全優勝を含むシーズン3勝を挙げました。18度のトップ10フィニッシュ、年間獲得賞金(1億6,944万9,079円)、平均ストローク(70.0604ストローク)はいずれもツアー2位と大躍進し、メルセデス・ランキング3位と最終戦までもつれる年間女王争いを演じました。初出場となった昨年の本大会は6位と好成績を収め、昨シーズンパーオン率1位のショット力を武器に大会初優勝の期待がかかります。



岩井千怜

岩井姉妹の妹・**岩井千怜**は、5月に行われたRKB×三井松島レディースで国内ツアーで史上初となる姉妹でのプレーオフを制すると、年間2勝を挙げ、メルセデス・ランキング6位。ギャラリーを楽しませるゴルフを体現し、姉・明愛とともに2023年ツアーを牽引しました。平均250ヤードを越えるドライビングディスタンスもさることながら、昨シーズンは平均パット数が3位と、繊細な技術を兼ね備える腕にどんな磨きがかかっているのか、注目が集まります。

◆今年も若手が新たな旋風を起こすのか

昨年の JLPGA ツアーでは、平均ストロークの上位 50 名がアンダーパーを記録するなど、レベルの高さを象徴する一年となりました。それと同時に新世代からも次々とニューヒロインが誕生し、例年以上に大混戦となる気配が早くも漂っています。

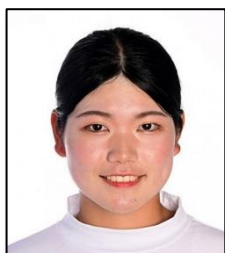


小祝さくら



原英莉花

多くの実力者が集結する 1998 年生まれの“黄金世代”からは、シーズン 1 勝ながらもメルセデス・ランキング 4 位と安定感が光る**小祝さくら**をはじめ、2023 年日本女子オープンで公式競技 3 勝目を達成し、大舞台の勝負強さが際立つ**原英莉花**、昨シーズンツアー初優勝を飾った**吉本ひかる**、**小滝水音**に加えて、昨年悲願のプロテスト合格を果たし、勢いに乗るルーキー**高木優奈**などが虎視眈々と開幕戦制覇を狙います。



櫻井心那



神谷そら

随所に存在感を発揮した 2003 年度生まれのこの世代からは、JLPGA ツアー本格参戦 1 年目の昨シーズン、宮里藍、畑岡奈紗に続くツアー史上 3 人目となる 10 代で年間 4 勝を挙げた**櫻井心那**をはじめ、ルーキーイヤーながら、メジャー 1 勝を含む年間 2 勝を挙げた**神谷そら**、ツアー 2 勝の**川崎春花**、ツアー 1 勝の**尾関彩美悠**、さらにステップ・アップ・ツアーで年間 3 勝を挙げ、研鑽を積み重ねた**ウーチヤイエン**といった“ダイヤモンド世代”と呼ばれる新世代がさらなる飛躍を遂げます。

◆歴代優勝者たちが対抗

かつて、照準を合わせる事が難しいとされる開幕戦において勝利を掴み取った歴代優勝者がその経験を活かし、実力者に挑みます。



西郷真央



森田理香子

群雄割拠ひしめくツアーメンバーの中から、USLPGA ツアー最終予選会を 2 位で通過し、今シーズンは米ツアーを主戦場とし本格始動している**西郷真央**が 2 年ぶりにツアー初優勝を飾った舞台に帰ってきます。さらに、2013 年の大会で優勝しその年の賞金女王となった**森田理香子**が出場、およそ 6 年ぶりとなるツアー復帰を果たします。

◆5 大会ぶりの優勝に期待したい沖縄県勢選手

地元沖縄県勢では、ダイキン工業所属選手の**諸見里しのぶ**と**新垣比菜**をはじめ、今年新たに琉球放送株式会社とスポンサー契約を結んだ**荒川怜郁**、2019年大会覇者でシード権復帰をめざす**比嘉真美子**、さらに、プロ生活20年を超える**上原彩子**は25大会連続出場となります。そのほか、出産を経て約2年ぶりのツアー復帰戦となる**宮里美香**、プロテスト合格後、初の沖縄開幕戦を迎える**千葉華**など活躍が期待される選手が揃って出場します。地元の熱い声援を受け、5年ぶりの沖縄県勢優勝をめざします。



諸見里しのぶ

諸見里しのぶは、2018年の3位タイ、2010年の2位タイなど大会との相性も良く、アマチュア時代には、当時のツアー最年少予選通過記録(14歳7か月)を樹立するなど実績を残してきた舞台です。現在はツアーの第一線から退くことを表明したものの、コースセッティングに関わりながら、テレビ解説者としても活躍の場を広げてきました。その視点を活かし、地元沖縄での開幕に早くも闘志を燃やしています。



新垣比菜

新垣比菜は、所属契約後初めて臨んだ2019年大会で2位、2021年大会は10位タイに入る活躍を見せています。また、去年はシーズンで2度のホールインワンを達成し、通算4回目達成のツアー史上最年少記録の快挙となりました。ファイナルQTも13位で通過し、かつて5年連続(2013~2017年)でベストアマチュアに輝くなど好相性の舞台で、歓喜の瞬間を味わうべく活躍を誓います。



荒川怜郁

荒川怜郁は、アマチュア時代の2022年には予選会を2位で勝ちあがると勢いそのまま、本戦でも10位タイに入る活躍をみせました。プロデビュー戦となった今年の今大会、地元の声援を背に予選ラウンドでは絶好のスタートを切りながらも、悔やまれる結果となりました。今年は新たな想いを胸に、開幕戦制覇をめざします。

また、今年の1月29日、30日に行われた『ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ選手権』では、宮城杏さんが優勝、初めての本戦出場権を獲得しました。続く2位には上原和さんが入り、こちらも初の大舞台への出場を決めるなど、出場169名のうち上位通過を果たした4名（宮城杏さん、上原和さん、小潮川せりさん、吉崎マーナさん）が本戦への出場切符を手にししました。ベストアマチュア争いにも注目が集まります。



(写真：左から吉崎さん、上原さん、宮城さん、小潮川さん)

出場予定選手一覧(108名)

■前年度メルセデス・ランキング上位50位までの者

山下美夢有	岩井明愛	小祝さくら	櫻井心那	岩井千怜
川岸史果	鈴木愛	桑木志帆	青木瀬令奈	穴井詩
西郷真央	ベソンウ (KOR)	上田桃子	菊地絵理香	神谷そら
蛭田みな美	ささきしょうこ	竹田麗央	高橋彩華	原英莉花
佐久間朱莉	リハナ (KOR)	仁井優花	森田遥	野澤真央
吉本ひかる	藤田さいき	永峰咲希	安田祐香	永井花奈
阿部未悠	イミニョン (KOR)	佐藤心結	木村彩子	尾関彩美悠
山内日菜子	天本ハルカ	全美貞 (KOR)	内田ことこ	後藤未有
金澤志奈	川崎春花	笠りつ子	濱田茉優	

■前年度JLPGAツアー競技優勝者で、前号に該当しない者

小滝水音

■産休制度を適用し、復帰する者

宮里美香

■JLPGAツアーで30勝した者

不動裕理

■前年度週番号第46週に開催されるJLPGAツアー競技終了時点のメルセデス・ランキング51位から55位の者

堀琴音 宮澤美咲 柏原明日架 浜崎未来

■前年度JLPGAステップ・アップ・ツアー賞金ランキング上位2位までの者

ウーチャイエン (TPE) 大須賀望

■QTランキングリスト上位者

宋ガウン (KOR)	小倉彩愛	藤田かれん	河本結	大里桃子
木戸愛	脇元華	小林夢果	岸部桃子	岡山絵里
鶴岡果恋	上野菜々子	新垣比菜	高木優奈	村田理沙
アンシネ (KOR)	工藤遥加	仲宗根澄香	宮田成華	丹萌乃
竹内美雪	千葉華	小西瑞穂	高木萌衣	三ヶ島かな
P.サイパン (THA)	鬼頭さくら	吉澤柚月	李知姫 (KOR)	

■次点補充者

小林光希 吉本ここね 山路晶 橋添穂 エイミー・コガ (USA)

森井あやめ 沖せいら 新海美優

■主催者推薦選手

諸見里しのぶ	荒川怜郁	森田理香子	大城さつき	山城奈々
辻梨恵	田辺ひかり	澁澤莉絵留	上原彩子	原江里菜
金田久美子	堀奈津佳	渡邊彩香	比嘉真美子	@宮城杏
@上原和	@小潮川せり	@吉崎マーナ		

注釈①：(KOR)…韓国、(TPE)…チャイニーズタイペイ、(THA)…タイ、(USA)…アメリカ

注釈②：@…アマチュア選手

注釈③：太字は沖縄選手

2024年2月14日現在

今年ダイキンオーキッドレディスで達成が期待される記録集 ※2/9 エントリー時点

■生涯獲得賞金 ●円突破

氏名	突破賞金額	現在賞金額	突破まであと	最低達成条件	達成試合数	
全 美貞	1,300,000,000	1,291,195,197	8,804,803	単独2位以上	556試合目	史上3人目
鈴木 愛	900,000,000	899,478,924	521,076	単独46位以上	279試合目	史上10人目
小祝 さくら	600,000,000	591,869,878	8,130,122	単独3位以上	208試合目	史上25人目
諸見里 しのぶ	500,000,000	492,673,562	7,326,438	単独3位以上	364試合目	史上37人目
高橋 彩華	300,000,000	293,632,052	6,367,948	単独4位以上	189試合目	史上97人目
岡山 絵里	300,000,000	290,727,392	9,272,608	優勝	232試合目	史上97人目
濱田 茉優	200,000,000	188,191,503	11,808,497	優勝	233試合目	史上151人目
仲宗根 澄香	100,000,000	93,112,826	6,887,174	単独4位以上	205試合目	史上236人目
リ ハナ	100,000,000	91,841,703	8,158,297	単独3位以上	83試合目	史上236人目
安田 祐香	100,000,000	91,603,008	8,396,992	単独3位以上	109試合目	史上236人目
脇元 華	100,000,000	90,004,224	9,995,776	優勝	135試合目	史上236人目
佐久間 朱莉	100,000,000	88,982,730	11,017,270	優勝	82試合目	史上236人目

■その他

トーナメントコースレコード：62 (-10) 2003年 具玉姫

トーナメントレコード：3日間大会 202 (-14) 2008年 宋ボバ、2015年 テレサ・ルー
：4日間大会 274 (-14) 2021年 小祝さくら

■当週誕生日を迎える選手

3/1(水) ペ ソンウ (30)

3/3(金) 堀 琴音 (28)

大会歴代優勝者一覧

	開催年	優勝者	スコア	ベストアマチュア	スコア
第1回	1988年	黄 壁洵	±0(216)	-	
第2回	1989年	P.リゾ	-5(211)	-	
第3回	1990年	高須 愛子	-3(213)	-	
第4回	1991年	A.ベンツ	-9(207)	-	
第5回	1992年	P.シーハン	-8(208)	-	
第6回	1993年	城戸 富貴	-8(208)	-	
第7回	1994年	福嶋 晃子	-3(213)	-	
第8回	1995年	M.マクガァイ	-6(210)	-	
第9回	1996年	リーウエンリン	-4(212)	-	
第10回	1997年	高 又順	-10(206)	(該当者なし)	
第11回	1998年	金 愛淑	-5(211)	(該当者なし)	
第12回	1999年	井上 陽子	-10(206)	(該当者なし)	
第13回	2000年	藤野 オリエ	-7(209)	(該当者なし)	
第14回	2001年	不動 裕理	-3(213)	@ 諸見里しのぶ	+12(228)
第15回	2002年	藤井 かすみ	-8(208)	@ 諸見里しのぶ	+4(220)
第16回	2003年	不動 裕理	-8(208)	@ 宮里美香	+2(218)
第17回	2004年	宮里 藍	-10(206)	@ 諸見里しのぶ	-3(213)
第18回	2005年	藤野 オリエ	+1(217)	@ 諸見里しのぶ	+8(224)
第19回	2006年	西塚 美希世	-8(208)	@ 笠りつ子	+1(217)
第20回	2007年	米山 みどり	-6(210)	@ 宮里美香	+2(218)
第21回	2008年	宋 ボベ	-14(202)	(該当者なし)	
第22回	2009年	三塚 優子	-8(208)	@ 比嘉真美子	-3(213)
第23回	2010年	アン ソンジュ	-10(206)	@ 山里愛	+9(225)
第24回	2011年	朴 仁妃	-11(205)	(該当者なし)	
第25回	2012年	斉藤 愛璃	-10(206)	@ 比嘉真美子	-5(211)
第26回	2013年	森田 理香子	-13(203)	@ 新垣比菜	-5(211)
第27回	2014年	O.サタヤ	-8(208)	@ 新垣比菜	+1(217)
第28回	2015年	テレサ・ルー	-14(202)	@ 新垣比菜	+1(217)
第29回	2016年	テレサ・ルー	-8(280)	@ 新垣比菜	+8(296)
第30回	2017年	アン ソンジュ	-6(282)	@ 新垣比菜	+9(297)
第31回	2018年	イ ミニョン	-11(205)	@ 新城莉李亜	-2(214)
第32回	2019年	比嘉 真美子	-5(283)	(該当者なし)	
第33回	2020年	※新型コロナウイルス感染拡大により大会中止			
第34回	2021年	小祝 さくら	-14(274)	@ 新城莉李亜	+6(294)
第35回	2022年	西郷 真央	-10(278)	@ 荒川怜郁	-4(284)
第36回	2023年	申 ジェ	-10(278)	(該当者なし)	

※第3日は荒天のため中止

大会レコード

- ・大会コースレコード 62 ストローク 具玉姫【第16回大会(2003年)2日目】
- ・最年少優勝 18歳 262日 宮里藍プロ【第17回大会(2004年)】
- ・最年少出場 12歳 074日 新垣比菜さん【第24回大会(2011年)】
- ・最年少予選突破 14歳 079日 新垣比菜さん【第26回大会(2013年)】

ダイキンオーキッドレディスの歩み(年表)

開催年	優勝者	スコア	ベストアマチュア	スコア	大会のトピックス
第1回 1988年	黄 璧洵	±0(216)	-	-	○LPGAツアーの開幕戦として開催 ○賞金総額4,000万円、優勝賞金700万円 (1988年からLPGAツアー制度を施行)
第2回 1989年	P.リゾ	-5(211)	-	-	○賞金総額を4,500万円に増額
第3回 1990年	高須 愛子	-3(213)	-	-	○日本人初のチャンピオンが誕生 ○10月、故・中山泰平氏(元日本興業銀行頭取)の提唱で本土財界と 沖縄財界の協力・交流の場として「沖縄懇話会」が設けられる ○賞金総額を5,000万円に増額
第4回 1991年	A.ベント	-9(207)	-	-	
第5回 1992年	P.シーハン	-8(208)	-	-	○賞金総額を6,000万円に増額
第6回 1993年	城戸 富貴	-8(208)	-	-	
第7回 1994年	福嶋 晃子	-3(213)	-	-	○福嶋晃子が涙のツアー初優勝。20歳8カ月6日でのツアー優勝は、 当時日本人女子プロ史上3番目に若い記録
第8回 1995年	M.マクガイア	-6(210)	-	-	○オーキッドパウンティの創設
第9回 1996年	リー・ウェン	-4(212)	-	-	
第10回 1997年	高 又順	-10(206)	(該当者なし)		○サブタイトルに「Together with OKINAWA」を掲げる ○第1回ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ選手権大会を開催 ○ボランティアスタッフによる大会運営を開始
第11回 1998年	金 愛淑	-5(211)	(該当者なし)		
第12回 1999年	井上 陽子	-10(206)	(該当者なし)		
第13回 2000年	藤野 オリエ	-7(209)	(該当者なし)		○宮里藍、諸見里しのぶがプロトーナメントにデビュー ・ダイキンオーキッドレディス(ツアー競技)初出場
第14回 2001年	不動 裕理	-3(213)	@諸見里しのぶ	+12(228)	○諸見里しのぶが予選を通過 ・アマチュアゴルフ選手権から初の予選通過者が誕生 ・当時のLPGAツアー最年少予選通過記録を樹立(当時14歳7カ月)
第15回 2002年	藤井 かすみ	-8(208)	@諸見里しのぶ	+4(220)	○大会ポスターデザインの公募を開始 ○地元玉城中学校の生徒を大会に招待
第16回 2003年	不動 裕理	-8(208)	@宮里美香	+2(218)	○具玉姫が2Rに2つのツアーレコードを樹立 ・62ストローク/当時18ホールでの最少ストロークを記録 ・11バーディー/18ホールでの最多バーディー数を記録
第17回 2004年	宮里 藍	-10(206)	@諸見里しのぶ	-3(213)	○宮里藍がプロデビュー後、ツアー初優勝 ・沖縄県勢として初のダイキンオーキッドレディスチャンピオンに
第18回 2005年	藤野 オリエ	+1(217)	@諸見里しのぶ	+8(224)	○大会サブタイトルを「Ever Onward with OKINAWA」 (沖縄とともに限りなき前進)に変更 ○賞金総額を8,000万円に増額
第19回 2006年	西塚 美希世	-8(208)	@笠りつ子	+1(217)	○諸見里しのぶがプロとして初出場
第20回 2007年	米山 みどり	-6(210)	@宮里美香	+2(218)	○米LPGAツアーに参戦中の宮里藍が出場、4位に ○大会史上最多となる29,753人のギャラリーが来場
第21回 2008年	宋 ボベ	-14(202)	(該当者なし)		○宋ボベがトーナメントレコードを更新する14アンダーで優勝 ○米山みどりが最終日の16番ホールでホールインワンを記録。 ホールインワン賞300万円を獲得
第22回 2009年	三塚 優子	-8(208)	@比嘉真美子	-3(213)	○上原彩子が優勝争いを繰り広げ、本大会自己最高となる2位タイに ○比嘉真美子(12位タイ)、森長真理子(53位タイ)と4大会ぶりにアマチュア が複数選手決勝ラウンドに進出
第23回 2010年	アン ソンジュ	-10(206)	@山里愛	+9(225)	○日本ツアー初参戦のアンソングジュが優勝。同年賞金女王に輝く。 (外国人選手の賞金女王は当時ツアー2人目) ○諸見里しのぶが本大会自己最高となる2位タイに
第24回 2011年	朴 仁妃	-11(205)	(該当者なし)		○新垣比菜が大会最年少出場記録を更新(12歳74日、小学6年生)
第25回 2012年	斉藤 愛璃	-10(206)	@比嘉真美子	-5(211)	○斉藤愛璃が三塚優子と李知姫とのプレーオフを制してツアー初優勝 ○比嘉真美子が16位タイに入り、ベストアマを獲得 ○アマチュアの伊波杏莉が2日目の13番でホールインワンを記録。 規定改正後、アマチュアとして初のホールインワン賞、賞金50万円を獲得
第26回 2013年	森田理香子	-13(203)	@新垣比菜	-5(211)	○森田理香子が大会初優勝。同年LPGAツアー賞金女王に輝く ○新垣比菜が28位タイに入り、ベストアマを獲得
第27回 2014年	O.サタヤ	-8(208)	@新垣比菜	+1(217)	○比嘉真美子が2位タイに ○新垣比菜が21位タイに入り、2年連続ベストアマを獲得。諸見里しのぶに 続き、大会史上2人目の記録
第28回 2015年	テレサ・ルー	-14(202)	@新垣比菜	+1(217)	○新垣比菜が33位タイに入り、大会史上初となる3年連続ベストアマを獲得 ○沖縄県勢では単独の4位に川満陽香理、5位タイに宮里美香が入る
第29回 2016年	テレサ・ルー	-8(280)	@新垣比菜	+8(296)	○世界基準となる4日間競技に変更 ○賞金総額を1億2,000万円に増額 ○テレサ・ルーが史上初の大会2連覇を達成 ○新垣比菜が4年連続のベストアマを獲得
第30回 2017年	アン ソンジュ	-6(282)	@新垣比菜	+9(297)	○第30回記念大会として開催 ○宮里藍が6年ぶりに出場 ○新垣比菜が5年連続のベストアマを獲得
第31回 2018年	イミニョン	-11(205)	@新城莉李亜	-2(214)	○第3日は荒天の為、競技中止。54ホールの短縮競技 ○諸見里しのぶが3位タイに入る活躍
第32回 2019年	比嘉真美子	-5(283)	(該当者なし)		○比嘉真美子が宮里藍以来、15年ぶりの沖縄県勢優勝 ○新垣比菜が所属プロとして初めて迎えた本大会で2位タイに
第33回 2020年					○新型コロナウイルス感染拡大により大会史上初の中止
第34回 2021年	小祝さくら	-14(274)	@新城莉李亜	+6(294)	○1日あたり原則1,000人での有観客開催 ○4人がホールインワン達成。4日間大会で4度記録し最多記録を更新 ○新垣比菜、川満陽香理が10位タイに入る
第35回 2022年	西郷真央	-10(278)	@荒川怜郁	-4(284)	○1日あたり原則3,000人での有観客開催 ○荒川怜郁が10位タイに入り、ベストアマを獲得
第36回 2023年	申ジエ	-10(278)	(該当者なし)		○4年ぶりに観客動員数に上限を設けず有観客開催 ○申ジエが10回目の出場にして、初優勝を飾る

2024 年 JLPGA ツアー初戦の様相を沖縄から TBS 系列で全国に放映

JLPGA ツアー2024 シーズンの開幕戦『第 37 回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』の熱戦の様相は、地上波では TBS 系列 28 局を結び沖縄から日本全国へ向け放送します。このほか、BS-TBS では第 2 日の金曜日から 3 日間放送いたします。

【放送予定】

■地上波

3月1日	(金)	25:53~26:53	<RBCローカル>
3月2日	(土)	15:00~15:54	<LIVE/TBS・MBS・RBC他>
3月3日	(日)	15:30~16:54	<TBS系列全国ネット>

■BS-TBS

3月1日	(金)	18:30~19:30
3月2日	(土)	19:00~20:00
3月3日	(日)	17:30~18:54

◇ラジオ◇

RBCラジオでは、大会期間中、会場から生中継でダイキンオーキッドレディス情報をお伝えします。

熱戦の舞台は琉球ゴルフ倶楽部

今年も大会の舞台は、沖縄本島南部に位置する琉球ゴルフ倶楽部（沖縄県南城市）です。沖縄ならではのガジュマル、ホルトや椰子といった熱帯植物に囲まれた南国ムードあふれ、東、西、南の 27 ホールを擁します。海岸線に近いので風が強く吹く日もあり、自然というハザードも魅力の一つです。ダイキンオーキッドレディスでは、1988 年の第 1 回大会から継続して琉球ゴルフ倶楽部にて開催しています。

～ 琉球ゴルフ倶楽部 ～

沖縄県南城市玉城字親慶原 1 番地

開場：昭和 52 年 7 月

設計：梅沢 弘 監修：川波義太郎

第37回ダイキンオーキッドレディス 大会実施要項

大会名称：第37回 ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント

主催：ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社

公認：一般社団法人日本女子プロゴルフ協会

後援：沖縄県、那覇市、南城市、沖縄観光コンベンションビューロー、TBS テレビ

企画運営：琉球放送株式会社

運営協力：株式会社博報堂、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ

開催期日：2024年2月 26日（月） 指定練習日
2月 27日（火） 指定練習日・前夜祭
2月 28日（水） プロアマ大会
2月 29日（木） 本大会第1日（予選ラウンド）
3月 1日（金） 本大会第2日（予選ラウンド）
3月 2日（土） 本大会第3日（決勝ラウンド）
3月 3日（日） 本大会最終日（決勝ラウンド）

開催場所：琉球ゴルフ倶楽部

〒901-0608 沖縄県南城市玉城字親慶原1番地 TEL：098-948-2460

競技方法：4日間72ホールストロークプレー

36ホール終了し、上位50位タイまでが決勝ラウンドに進出する。最終ラウンド終了時に、第1順位の者が2人以上いた場合は、即日協議委員会が指定するホールにおいて、ホールバイホールによるプレーオフを行い、優勝者を1人決定する。

競技規則：R&AとUSGAが承認したゴルフ規則（2023年1月施行）とJLPGAローカルルールおよび競技の条件、本大会追加ローカルルールを適用する。

出場資格：JLPGA ツアー規定による出場有資格者90名

主催者推薦18名（アマチュア含む）

賞金：賞金総額1億2,000万円 優勝賞金2,160万円

特別賞：優勝副賞／ダイキンルームエアコン『うるさらX』

ダイキンルームエアコン『risora』

ダイキン加湿ストリーマ空気清浄機『うるるとさらら空気清浄機』

＜ダイキン工業(株) 提供＞

ヤンマープレジャーボート『トップラン FX24EZ.LTDIV』

＜ヤンマー(株) 提供＞

琉球放送賞／特製オーキッド絵模様（東道盆）

沖縄県知事賞／琉球ガラス特製品

チェコ賞／ボヘミアングラス

TV放映：TBS系列全国ネット、BS-TBS

～ Ever Onward with OKINAWA～ ダイキンオーキッドレディスの地域貢献活動

ダイキンオーキッドレディスでは、1997年の第10回記念大会から「沖縄と共に歩み続けるトーナメントをめざしたい」という願いを込めて、大会スローガンに“Together with OKINAWA”を掲げ、地域と一体となった大会運営を続けてきました。2005年大会からは「沖縄とともに限りなき前進」というめざす姿を表現した新しい大会スローガン“Ever Onward with OKINAWA”に変更し、さらに一歩進んだ活動をめざしています。

コロナ禍で活動が制限される中でも感染防止対策を徹底しながら地元と密着した取り組みを続けてきました。昨年5月に新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に移行し、感染防止対策の義務付けがなくなったことで、今回、5年ぶりにコロナ前の形で開催となります。沖縄と本土の経済人が交流し、“沖縄と本土を結ぶ懸け橋”となってきた前夜祭とプロアマ大会も開催し、ダイキン工業創業100周年を彩るべく、さらなる発展をめざし取り組んでいきます。

●ダイキンオーキッドレディス アマチュアゴルフ選手権大会の開催

アマチュア選手権大会は、第10回記念大会より、地元沖縄県のスポーツ振興を目的に開催され、今回で28回目を迎えます。沖縄県在住または沖縄県出身の女性アマチュアプレーヤーであれば参加することができます。過去27回の大会でのべ5,000人を超える選手が出場しています。

第1回大会を制した新崎弥生が2002年にプロになったのを皮切りに、第3回大会を制した上原彩子、第4回の宮里藍、第5、6、8回と3度の大会を制した諸見里しのぶ、第7回の宮里美香、第18回の新垣比菜、第25回大会の荒川怜郁など本大会の優勝者が次々とプロゴルファーとなり、これまで20名のプロゴルファーが誕生しています。

●「オーキッドバウンティ」～沖縄の文化・スポーツ振興への支援活動～

1995年の第8回大会から「オーキッドバウンティ」の名称で、沖縄県の芸術、文化、スポーツ、教育等の振興を目的として活動している個人・団体の支援を行っております。これまでの支援先は、のべ266件を数え、支援総額は1億7,890万円となっています。今回も前夜祭やプロアマ大会に参加される沖縄と本土の経済人から浄財を募り、両主催者の寄付金と合わせて贈呈する予定です。

●大会ポスターデザインの公募

2002年の第15回大会より実施したポスターデザインの公募は、沖縄の若い世代の芸術・文化振興に貢献する目的から始めたものです。他トーナメントにない独自の取り組みで、今回で23回目を迎えます。今年も県内の園児から高校生の児童・生徒を対象にポスターデザイン募集を行い、929点の応募をいただきました。沖縄をイメージさせるものや、ゴルフを連想させるものなど子どもの斬新かつ大胆な発想で描く力作が集まりました。ポスターは全国の各所に掲示し大会を盛り上げると同時に、子どもたちにもダイキンオーキッドレディスや、ゴルフを知ってもらおうきっかけとなっています。現在も大会ポスターを一般公募しているトーナメントはなく、ダイキンオーキッド独自の取り組みです。

●地元ボランティアスタッフによる大会運営

トーナメント開催コースである琉球ゴルフ倶楽部のある沖縄県南城市（旧：玉城村）を中心とした地元の皆様に、ボランティアスタッフとして大会の運営に参加していただいております。1997年の第10回大会から始まったこの取り組みは、20年以上の長きにわたってご協力いただいている方々もいらっしやいます。コロナ禍では沖縄県内のボランティアスタッフを中心とした運営となりましたが、2019年以前同様に全国からの応募を募り、従来の延べ500人規模での大会運営をめざします。

●「総合学習」の一環として地元中学生をトーナメントに招待

大会では、多くの子供たちにゴルフというスポーツの魅力を通じて様々なことを学び感じてもらうことを目的として、2002年の第15回大会より玉城中学校1年生をトーナメント会場に招待しています。日本女子プロゴルフ協会の小林浩美会長をはじめ、大会スタッフによるレッスン会を兼ねた事前説明会を実施し、当日はコースでプロゴルファーの厳しい勝負の世界にふれるほか、トーナメント運営の現場（大会本部、テレビ中継センター、プレスルーム、速報センター、グリーンキーパー等）を見学していただきました。昨年に引き続き、玉城中学1年生153名が会場での総合学習を実施する予定です。

第37回ダイキンオーキッドレディス 大会ロゴ



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid

Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid

Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid

Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid

Ladies Golf Tournament

下記のドロップボックスに、大会ロゴデータおよびポスタービジュアルデータなどをアップロードしております。ご活用ください。

ダイキンオーキッド報道用素材ドロップボックスURL

<https://www.dropbox.com/scl/fo/bb4ttt1gmkecfpk05ivto/h?rlkey=18y1pfde4iyplm1pzil9vxtbg&dl=0>

<本大会に関するお問い合わせ先>

■読者・視聴者用お問い合わせ先

RBCダイキンオーキッド事務局 TEL. 098-988-5000 担当/護得久・前田

■報道関係者からのお問い合わせ先

ダイキンオーキッドレディス大会広報事務局(株式会社エムシーピーアール内)

TEL.03-6277-8760

担当/成願(じょうがん)、鈴木

携帯:090-2447-1069(成願)

090-7769-4376(鈴木)

E-mail:jogan@mcpr.co.jp / suzuki@mcpr.co.jp